

がわにし

広報かわにし

No.532

平成14年12月10日

特集1 うんめ「そば」がくいて…2
特集2 真剣に考えよう合併について…20
まちの話題…10



そばはやつぱり
おらほだ



人口の動き

—12月1日現在—

男	4,022 (－8)
女	4,113 (－8)
計	8,135 (－16)
世帯数	2,277 (－6)

() は前月比較

うんめ「そば」がくいて



「そば」をキーワードにした地域づくりが全国各地で進んでいます。

川西町でも最近、集落単位でのそば祭りが大きな盛り上がりを見せています。

また、地産地消の流れや、転作制度に関連してそばの集団転作に取り組む生産組織も増えてきており、自家用に個人で栽培する農家も相当あるようです。

これは、そばを農産物としてとらえるだけでなく、自分たちでも楽しんだり、地域の連帯感を高めたりするために活用しているからで、行政もこの流れを後押しをしています。…でもまあ、簡単にいえば、みなさんそばが好きなんです。

どこで作ったそば？

川西町を含む魚沼地域は米どころとして有名ですが、そばどころとしても知られています。

でも、これまでは、「おいしいそば店がある地域」としての知名度で、そばの産地としての実績は小さく、取り組みもあまり進んでいませんでした。

「このあたりのそば屋さんのそばは、コシが強くておいしいですね」

「そうでしょ、それが自慢なんです。ふのりが入っているからコシが強くなるんですよ。海藻だから体にもいいしね」

「ところで、そばはどこで作っているの？」

「ぐ…そばは、その、えーと、畑のそばかなあ、ははは…」

と、こんな会話がそこかしこで聞かれることもありましたが、最近では「ああ、どこでも作ってますよ、ほら、あそこでも」と答えることができるようになった。それほどそばの栽培が増えてきたわけですが、多くは、集団転作によるものです。

魚沼そばは風味最高！

魚沼地域では、中魚沼が転作としてのそばを最も多く栽培しており、県下でも有数のそば生産地になっています。今年はい全体で一六七ヘクタールに作付けされ、そのうち川西町が六六ヘクタールで最も多くなっています。

魚沼産そば栽培面積の推移（単位：ha）

	H12 年度	H13 年度	H14 年度	対前年比
中 魚 沼	92	171	167	97.7 %
北 魚 沼	107	119	119	100.0 %
南 魚 沼	60	101	92	91.1 %
魚 沼 合 計	259	391	378	96.7 %
新潟県合計	2,394	2,683	2,660	99.1 %

平成 14 年度中魚沼地域のそば作付面積（水田分）（単位：ha）

川西町 66 十日町市 45 津南町 35 中里村 24

作付け面積は、転作助成金の取り扱いの変更で若干平成十三年度よりも減っていますが、これまでの転作面積消化的な対応から、生産組織による本格的な土地利用調整による栽培へと移行してきています。

転作対応から本作化へ生産者の意識が変化してきたことから、収量増加に向けて意欲も高まっているようです。また、地元産のそばは、他産地のそばと

比較して風味が良いという評価も得られています。

でも品質が問題

じゃあ、これですべてがうまく運びそうですが、ことはそれほど単純ではないようです。

一つにはラインの問題があります。

これまでは、生産をしても、その後の「収穫→乾燥・調整→出荷→品質検査→（そば店等への）販売→商品化→消費者」の流れが必ずしも整っておらず、出荷までたどりつけないそばが多数ありました。

生産者にとっては、そば用のコンバインや乾燥機の確保、石抜き機能の付いた調整器などの整備が不可欠ですが、個人で整えるレベルを超えており、生産組織にとっても、かなりのリスクを背負って投資しなければなりません。生産から消費までのはっきりとした道筋が見えないとふんざりがつかない問題です。

もう一つは、品質の問題です。

これには、生産機器の整備が整っていない現実が大きく関わっています。が、出荷されるそばの品

質が一定でないということでも

この点は、実際にそばを提供するそば店にとって最も重要な問題で、ほとんどのそば店の経営者が口をそろえて指摘します。そばの乾燥や選別にばらつきがあったり、石や土砂の混入があつて、商品にならないものがあるということです。

これでは、いくら味がいいそばでも、そば店では使えませんね。

「地元でとれたうまいそばです。味も香りも最高、何しろ魚沼産！」と、自信満々でお客様に出したとしても、「それは楽しみ、つるつる、じやりじやり、何これ！」になつてしまつたんじゃ、ブランドイメージもあつたもんじゃありません。逆効果です。



そばの選別は手間のかかる作業です

そば研究会誕生

こうした流れを受けて、魚沼地域の市町村、農業改良普及センター、農政事務所が一体となつて、昨年七月に「魚沼そば研究会」が立ち上がりました。

これは、そばによる水田の有効利用と収益性の確保、そばを活用した地域活性化（つまり名実ともにそば王国になろうということ）をめざして設立されたもので、ここには、行政機関のほかJA、生産組織、実需者（そばを提供する飲食店等）、消費者（そば好き有志を含む）が加わっています。

そこでは、先の二点の問題がそれぞれの立場で話し合われたり、実際にそばの食べ比べをしたり、新しいそば料理を試した



「そばクッキー」「そばみそ汁」など新しい味も試されています

りと、様々な試みが行われています。

体制も整った 豊作だ！

その甲斐あつて、本年度は、県や町などの支援によりコンバインや乾燥機、石抜き機などの導入を進める生産組織が増え、調整関連の環境は格段に向上しました。

また、そば店から要望の高かつたそばの品質検査による格付けも実施する体制が整いました。

肝心のそばの栽培ですが、八月上旬の播種のころから生育・成熟期の秋にかけて天候に恵ま

れたため順調に実りました。「今年のそばはいいぞ」という声があちこちで聞かれ、豊作への期待も一気に高まりました。

そんなに甘くない

さあ、これでもうバッチリ。いつでもいらつしゃいの方々歳となるはずでしたが、そうはならないのが現実の厳しさ、小説よりも奇なりというところ。

例の初雪です。十一月五日の初雪は観測史上最も早く、誰も降ることを予想していませんでした。収穫は始まっていたが、多くは今か今かと刈り取りを待っていたところで、重い初雪に遭い、ばったりと寝てしま

そばのうんち

そばの栄養は穀物中最高！

そばは、米や小麦に比べてはるかに栄養価の高い食べ物です。タンパク質は白米よ



り三割以上多く、身体の発育に大切なリジンやスタミナ源として注目されているアルギニンなどを多く含んでいます。

また、ビタミンB群は白米の四倍も多く、イライラや体力低下に効果のあるB1、皮膚の健康を保つのに不可欠なB2を多く含んでいます。

イライラしたり、少しの運動でもゼーゼー言ってしまうアナタ、今すぐそばを食べましょう。

の声がそこかしこから漏れてきました。

雪は降っても「そば祭り」

今年はこのまま終わるのか、と思いきや…必ずしもそうならないのが、「おらは」のしよのしぶといところ。

十一月十日、岩瀬ライスセンタ―で「岩瀬そば祭り」が行われました。

雪につぶされ、畳を敷いたように寝てしまったそば（消雪後）



雪の中から掘り出したそば

した。あとは白銀の世界…

川西町では、作付面積（生産組織）のうち、七五%以上が雪の下になりました。コンバインによる刈り取りは不可能となり、農家や生産組織では手刈りで対応したところもありましたが、収量としては微々たるもの。来年用の種子がようやく確保できたというところにとどまりました。

せっかく体制を整えてのぞんだのにこんな結果になってしまい、「枕を並べて討ち死にしてみたい。今年は泣き寝入りするしかないねえな」「祭りも正月も火が消えたようだこつとお」と、嘆き



「ムラが変わってきた」という金子澄男さん

か確保しました。そばの品質？良かったですて」と、そば祭りに合わせて、初雪前に収穫を終えてあったのが幸いしたようです。

ムラ中総出がいやんそ

岩瀬集落では、そばの種まきから、刈り取り、脱穀、調整、そば打ちと、村中総出で行っており、特に種まきは、子ども村



みんなでそば刈り

そばのうんちゅう
いつからそばを食べているの？

そばの起源にはいくつかの学説がありますが、原産は、中国雲南周辺からネパールにかけての高原といわれています。

（山村留学）の児童たちも参加しています。

「最初は、体験農園の畑が空いていたんで、『そばでも作ってムラ中で腹一杯食うか』ということで始めたがんです。そして、評判を聞いたよそのしよ

がどんどん来るようになって、今じゃ外の人の方が多くなりましたて。

そばは、転作の分も入れて全部で二町五反ほど作っています。全部手作業です。だっけ、ムラ中総出にならんそ（笑）。若けしよも年寄りも、男しよも、女しよも一緒に寄らんがいやんそ。祭りに合わせて作った野菜なんかも結構売れらんですて。ムラは確かに活気づくの」と、金子さんは確かな手応えを感じている

それが朝鮮半島を通過して日本に伝わったのでしょうか。縄文時代の遺跡でそばの花粉が確認されていることから、そのころからもう食べていたのかもしれない。

意外にもヨーロッパにもそばは伝わり、フランスやイタリア、ロシアなどで現在でも食べられています。

ようです。

そば打ち担当の金子啓介さん（60）にも聞いてみました。

「今朝、四時からそば打ちして四〇〇食間に合わせました。そば粉一〇〇%にふのりつなぎで打ってあります。



金手づくり具道 金子啓介さん

そば打ち体験もやってますが、毎年十人前後が参加してくれます。ポイントの水回しですね。そば粉とふのりを混ぜるときにむらなく平均になるようにすることです。『のし』と『切り』は慣れれば誰でも大丈夫です」と言いながら鮮やかな手つきでそばを打つ金子さんは、ま

さに「そば打ち名人」といった風情です。

「うわさに違わぬ…」

一方、施設の外では、とんとんすつとん、といい音が響いてきます。餅つき音です。

「地元の米を地元のいい男がついた餅だんが、うんめに決まつてこのこつお、売れ行き最高（笑）」と、息を弾ませながら話す中条裕基さん（45）の前では、つきたての餅を食べようとする人の列ができていました。

さて、肝心の全て手づくりの岩瀬そばのお味はいかがでしょう。

上野からお孫さんといっしょに食べに来た羽鳥栄吉さんは、「いや、人からなじよにかうめそばだと聞いたんで来てみました。味ですか？うわさに違わ

ねの、ぞぞぞぞ…」と本当にうまそうにほおばっていました。

十日町市小泉から

奥さんとお子さんの三人で参加した柳学さん（表紙の写真）は、「親戚に誘われて初めて来ました。前から評判は聞いていましたが、やっぱりおいしいです。ただ、ちょっと今日は冷たいそばを食べるには寒いですね。あったかい豚汁も、餅もうれしいです（笑）」と、岩瀬の味をすべて満喫していました。

「えもいわれぬ快感が…」

みなさん、「おいしい」とおっしゃるわけですが、どんな風においしいのか読者の皆さんにはなかなかおわかりいただけなと思いますので、ここは、本紙編集子の体験レポートをお伝えします。

まず、おつゆですが、鰹のほのかな香りが食欲をそそります。ちよろつと口に含んでみますと、味はだしが良くこなれて風見よく、甘過ぎもせずしよつ



町の「四役」も公務の合間を縫って駆けつけました

ばずぎることもなく、うまみが口中に広がります。そして、唾液が「早くそばをよこせ」と催促します。

そばは、もちろん岩瀬の新そばを名人が今朝打ったもの。まきで沸かしたお湯でゆでたそばを清冽な水で冷やした、まさにうちたて、ゆでたて。竹で編んだざるに一口ずつ並べてあるのがうれしいですね。色は明るい灰色で、ところどころ黒い粒がみえるのは殻の残りか。これが田舎そばっぽくて、かえって新鮮です。包丁で手切りしてある

ので、めんのはきは多少のばらつきがありますが、これが手作りの味というものの、角がきちんと切れ上がっためんは美しいものです。

前置きはこれくらいにしておいてみます。まだ水の切れしていないつやつやを、ちゃぷんと汁につけ（江戸そばと違ってたつぷりにつけるのがこちらの作法）、つつつつぞぞぞ…舌触りはつるつる感の中にもしつかりとした引っかかりがあります。コシは強く弾力があり、ふのりつなぎの面目躍如といったところ。新そばとかつおだしの香りがからみ合い、「つる、しこ」の食感と相まって、えもい

われぬ快感が口中に広がります。のどごしは、ふのりのなめらかさが手伝っていたってスムーズ、「早くもう一口」とのどが鳴ります。

これらを総称して一言で表現すれば「うまい！」しかありません。これはもう、食べた人にしかわかりませんね。食べられなかった方ごめんさい、残念でした…

「課題もありますが」

人気と実力が相乗効果を生んでいる「岩瀬そば祭り」ですが、すべてが順風満帆というわけではありません。会場や量の制約

そばのちゃん3

昔からつるつるだった？

日本の文献にそばが現れるのは八世紀ですが、そのころのそばは、現在のようにめんにして食べるのではなく、そばがきのように練って、焼いたり雑炊に入れたりして食べていたようです。

現在のような「そばきり」にして食べるのが一般的になったのは江戸時代初期で、江戸そば、信州そばとして全国

に広がっていききました。

また、そばは五穀（米、麦、あわ、ぎび、豆）から外れていたため年貢の対象とならず、どこの農家でも栄養価の高いそばを自家用として栽培していました。

川西町での記録では、江戸時代後期の幕府役人の日記に「木落で鮭の切り身とそばきりを振る舞ってもらった」という記述があります。

そのころから、木落ではもうそば名人がいたんですね。



からムラの人たちと来訪者が一堂に会することができず、「ムラのしよは、午後から食べてもらうようにしてらんですて」(金子澄男さん)という対応を余儀なくされています。「それから、こうして盛り上がりつつき



きれいどころが盛りつけたそばは、美しいでしょー！

たことを、地域全体が良くなるようなことになげたいです」と、次のステップへの模索が続いています。

そば祭りの先輩木落

さて、ムラを挙げてのそば祭りという、もうひとつ忘れてはならないところがあります。そう、木落です。

「秋遊もくらくぞつき秋の陣」と銘打ったこのお祭りは今年で七回目、岩瀬より二回先輩です。

十一月十七日は久々の小春日和に恵まれました。その日、会場の木落構造改善センターは活気づいていました。十一時半の開場を待ちかねたようにお客さんが詰めかけ、ゆで場はまるで戦場。てんてこ舞いの忙しさで、言葉をかけるのはばかられるほどでした。「大忙しですね」「ほんと、間に合わない、手伝ってー」。

それほどの人気のそばを食べ

ないわけにはいきません。手伝いはこの次ということにして、「もくらくぞつき」の大幕が下がった会場へと吸い込まれていきました。

こちら満員御礼

「いらつしやいませ！」と元気に迎えてくれたのが田口和子さん。「今年も出足がいいですよ。予約注文もたくさんいただきました」という隣で和久井工さんが、「ほれ、早くしねとなるぜの」と笑顔で迎えてくれました。こうした「入りやすさ」の演出も地域イベントの大事な要素です。



田口和子さん(左)と和久井工さん(右)

上に上がると、畳の広間は満席状態でした。「蕎麦づくりなひとくらぶ筆頭企て役」(つまり実行委員長)の田口徳一さん(59)は、「四〇〇人分用意しましたが、完食しそうですね。毎



「もっとそば好きを集めたい」という田口徳一さん

年来てくださる人の範囲が広がっているのがわかります」と、こちらも人気は上昇中のようです。

一五〇%満足！

そばの味をレポートしろって？うーん、したいのですがこれをしていると紙面がとてもしまいますので、ここは、遠方から食べにこられた方々の感想を紹介して読者の方々の想像力をかきたてることにします。

ごめんなさい！

新潟市から駆けつけたという前田美恵子さんと玉木昌子さんは、「知人にすすめられて



“そば”を配る“そば”からなくなります

車二台、九人で食べに来ました。おいしいですね、評判以上です」。

また、同じく新潟市の広瀬久三雄さんは、「手打ちのうまいそばがあると聞いてやってきました。一五〇%満足です」と最高の評価です。

しかし、「最初のころは、めんがなかなかつながらなくて苦労しましたね。ふのりの量と混ぜ方、こねる時間などのコツをつかむのに大分試行錯誤しました。製めん機を導入してプロから指導を受け、去年あたりから安定した均一のそばを打つこと



プロ仕様の製めん機も導入しました

ができるようになりました」と、ここまでに至る道のりが平坦でなかったことを田口さんは振り返ります。

「課題としては、やはり会場の都合でこれ以上の人から入ってもらえないということですね。地元の人を持ち帰りが多いのもそこに原因があります。もつといっぱいの人から味わってもらいたいです」と、こちらも会場のキャパシティが頭痛の種の一つです。

【そば以外のお目当ては…】

いずれにしても、両集落とも、「たかがそば」に「されどそば」と、これほど多くの人が飛びつくとは思いませんでした、「うれしい誤算」のようです。そし

て、「次の展開をどうするのか」に、もやもやしたのを感じているようです。
ただこれは、一集落だけで解決できるものではなく、もう少し広い範囲で考える問題かもしれない。そんな問題を考える



野菜も魅力ある資源



そば打ち体験も人気があります

上で参考になりそうな意見を、前出の新潟市の前田さんが話してくれました。

「もう少し上手にPRできると思います。新潟市などから来る場合、おそばだけでなく、温泉や野菜、名所などもお目当てにするものです。こちらにはそういうものがみんなあるわけですから、それらとうまくつないで町内を一周するような催しにできないかしら」。一考に値しそうです。

【そば研究会で生の声】

さて、こうした課題も含めて、産地としての発展を考える勉強会「中魚沼そば研究会」が、中



魚沼農業改良普及センターなどの主催で十一月二十五日、仙田体験交流館を会場に開かれました。

参加者は、普及センター管内の市町村、JA、農業関係団体、そば生産者、そば店、消費者など約六〇人でした。農政事務所、作物研究センター、食品研究センターなどの専門分野からそば

そばのちゃん 4

おらほの「へぎそば」は？

「へぎ」は「はぐ、へぐ」からきており、板などをはいだ折敷のこと。そこにそばを盛りつけたことから付いた名前だといわれています。（つまりそばの性質のことではないということ）

このあたりのそばの特徴は強烈なコシで、やわらかいそばになれた人には「え、これがそば？」といわせるほどのカルチャーショックを与えるようです。

秘密が、つなぎに「ふのり」を使うことにあることはご存じのとおり。ふのりは「布海苔」と書き、古くから着物のり付けに使われてきました。それをそばのつなぎに使

をめぐる現状分析や将来展望などが報告され、その後「地元玄そばの評価と利用拡大」というテーマで話し合いが行われました。

この中では、各そば店さんからの生の声が、そば栽培の現状を考える上で重要なポイントになっていました。



また、手ぐり（あるいは手ぶり）というて、食べやすいように一口ずつ盛りつけてある

のも特徴です。これはかせ糸に似せてあるといわれ、これも織物産業が盛んだったこの地域独特の美意識の現れだということが出来ます。
今では、魚沼地方のほとんどのそば店がふのりつなぎのそばを扱っています。新潟県を代表するそばブランドに成長しました。

【新品種で統一を！】

小林重則さん（小嶋屋総本店）



地産地消ということから地元産を三〇トン使っています。北海道産に比べて味が濃く、食用に適していますが、水分のムラがあったり甘皮が茶色だったりして品質のばらつきが見られます。品種も信濃一号、栃木在来など複数作られていることから交雑が起きているの

ではないでしょうか。

新品種を生みだすことに取り組むなど、地域性を高めながら売り出していくことが重要だと思います。

富沢皓一さん（とみざわ／津南町）



甘皮が青い（緑の）ものは風味が良く、茶色になると味が落ちます。これは、このあたりのそば生産組織が大豆と併用で栽培していることから、大豆収穫後にそばを収穫することによる刈り遅れが原因だと思っています。そばの葉が半分から六割くらい落葉したところに刈り取っていただければと思います。

地元在来のそばもあるようですが、品種がはっきりしません。種類統一の研究をしてほしいですね。小林勝幸さん（伊乃助そば店）

岩瀬ではすべて手作業（そば落とし）



さな畑で採れたものを仕入れています。山が荒れる（耕作放棄される）中で一生懸命作ってくださるのでありがたいのですが、乾燥不足が多く、やはり品質が問題です。

こうした研究会に出席してくれる人は大丈夫なんだろうが、情報を持っていない人は市場が要求する品質レベルがわかりません。作付指導をしてほしいと思います。

品種統一はぜひやってほしいです。

阿部昇一さん（妻有工房かわきた／十日町市）



生産から加工、販売までを一貫して行っています。品種の交雑は、夏そばは一種類で問題はないのですが、秋そばは交雑が生じていると思います。周辺に

そばのちん 5

これがわがまちの常識だ！

そばや器だけでなく、「ちよつと変わってる」といわれるのが薬味です。

他の地域では、そばに「わさび」が常識のようですが、当地方では「からし」。

これが結構おもしろいらしくて、テレビ局が「これがわがまちの常識だ」という番組で全国紹介したことがありまして、つい最近では新聞の全

国紙が「新潟の？」という特集記事で取り上げていました。「そばにわさび」は、わさび

の産地でもある信州そばの常識で、この食文化が全国に伝わる課程で広まったようです。このあたりは、わさびがと

れなかったので「からし菜」を薬味に使うことが昔から行われており、それだけ古くからそば文化が培われてきた証拠でもあります。

そいでまた、ふのりつなぎのそばには「からし」が合うんですよ、絶妙に…

ということを表しています。生産現場の声はどうでしょう。

朴木沢生産組合（中里村）

十月の風で実の部分がかなり落ちてしまいました。乾燥には気を使っています。気温プラス5度で、一乾燥四日かけて仕上げたこともあります。乾燥・調整のいい機械がないのが頭の痛いところです。

下島生産組合（沖立）

生育は順調でしたが、いざ刈り取りになったら、一日で雪の下になってしまいました。めげずに来年がんばりたいと思います。

ここで、皆さんの声を集約すると、
①地元産のそばは風味が良く、できれば多く使いたい
②問題として、品質のばらつきがある
③品種の統一をはかってほしいということになりそうです。
②と③は課題ですが、逆にいえばこれを解決すれば、そば産地としての展望が大きく開かれる

今年は、どの生産者も雪に泣かされました。

ここに住む幸せ

消費者代表の声も聞いてみましょう。

桑原光江さん（十日町市消費者協会会長）



消費者は安全性に対してとても敏感になってきています。その原因の一つは情報がないことです。こういう会に参加して良かったと思います。生産者や加工者の皆さんの姿勢がわかって安心しました。帰ってみんなに伝えたいと思います。

新潟県は食の供給が一番いいといわれていますが、特にこの地域はおいしいものがそろっているわけですから、そこに住んでいることの幸せを改めて思いました。

そば屋さんが地元でとれたそばを出していることがわかってうれしく思いました。これからも食べにいきたいと思います。

究極は、消費者の信頼を得ることなんです。

みんなで「うんめそば」をくおう！

この地域は、少し課題を解決すれば、「作ってよし（生産者）、打ってよし（そば店）、食ってよし（消費者）」の名実ともに「そばの王国」となれる可能性が高いことがわかりました。生産から消費までのサイクルが地域内で十分完結できることも強みでしょう。

そして、そのことを内外にアピールする媒体として重要になってくるのが、岩瀬や木落のそば祭りなどのイベントです。

「自分たちで作ったものを自分たちで調理して自分たちで食べる。それも地域みんなで。これは食の原点、最も基本的なことですが、これができる地域はそれほど多いわけではありません。しかも、それが高い品質であればなおさら、他の羨望を集めること間違いありません。

みんなで「うんめそばをくう」こと。そのまま自然に広がっていくこと。それが一番効果的な情報発信なのかもしれませんね。

「それならオレ（わたし）も参加できる！」。そんな人はたくさんいるんじゃないですかね、あなた…

そばのうんめ6

そば栽培のポイント

①そばは簡単に品種間で交雑
↓地域で統一した品種の作付を

②そばは湿気に弱い↓排水対策を万全に

③そばは吸肥力が強い↓窒素分は控えめに

④そばは播種期が重要↓春は五月中旬、夏は八月中旬までに



⑤そばの刈取適期を逃さない
↓実が七割程度黒くなったとき

⑥そばは乾燥が重要↓常温通風乾燥が基本（加温は三〇度以下で）

うんめよ～



守ろうブナ林 続けようコンサート



「つめてー、おもーい！」と静かな
ブナ林に中学生の声が響く

小林さんは、「ブナの保全との調和を図りながらコンサートを継続していくためには、この方法がいいという結論になりました。皆さんのご理解とご協力をお願いします」と、ブナ林保存活動とコンサートへの、新しい形の住民参加を呼びかけています。

毎年六月に開催される「千年の森コンサート」。新緑のブナ林に国際的に活躍する音楽家が奏でるハーモニーが響き渡るこの催しは、県内外のファンも多く、町の主な行事のひとつにもなっています。

一方、大勢の人たちが訪れることで、むき出しになったブナの根を傷つけてしまい、成長の妨げになっていることも事実です。

そこで、これ以上痛みが進まないようにするため、ブナ林の保全作業が十一月二十一日、二六公園で行われました。木の根っこを木材チップと葉で覆い、保護する敷設作業には、ブナ林保存会やコンサート実行委員会をはじめ、川西中学校の生徒を含む関係者ら総勢三〇人の参加がありました。

吐く息も白く冷たい雨の中、元気な中学生の奮闘も手伝って、作業はスムーズに進みました。

そして、「千年の森コンサート実行委員会（小林重則会長）」で今後の対応を話し合った結果、ブナ林の荒廃を防ぐために、当面はコンサートを隔年ごとに開催することに決定しました。

文化財のお寺で チェロコンサート

11月23日、国登録文化財の西栄寺（上野）で「小春日コンサート2002」が開催されました。

これは、ドイツの著名なチェリストライナー・ギンツェル氏と、新潟市在住のピアニスト片桐寿代さんを招いて、地域活動団体Y A R O U K A I（小林時夫会長）が主催して行ったもので、町内外の音楽ファンなど約60人が集まりました。

ベートーベンやブラームスなどの名曲のほか、今回が初演となる新曲も披露され、4回目の来町となるギンツェル氏のエネルギーあふれる演奏に、観客はすっかり魅了されていました。

アンコールは3回も行われ、特に3回目に「天神ばやし」の旋律が流れ始めると、会場からはため息が漏れていました。



「文化財の中で世界でトップの音楽を聴けるなんてぜいたくですね」（横浜から参加した女性の声）

好評です！ 千手温泉行き運行実験バス



利用者が多ければ定期運行の可能性も…

町では、生活交通に対する需用の調査を行うことを目的に、(株)まちづくり川西に依頼して温泉行きバスの町内運行実験を行っています。

このバスは、11月25日から12月26日の平日の昼間を中心に、路線バスの運行本数の少ない地域にルートを設定しています。

木落から乗車した女性は、「便が悪いんだが、ありがたいことだて。以前はタクシーで温泉まで来たこともあったどもの」と話し、利用者からはとても好評のようです。また、「ずっと続けてほしいのお。役場の用なんかも足せば、もっとごっつおなんだがのお」という声も聞かれました。

実験の結果によっては、路線バスの会社等と協議を行いながら、将来有料化しての定期運行を検討するという事です。

運行区間、時刻など詳細については、11月20日に全戸配付したピンク色A3判のチラシをご覧ください。とりあえず、一回乗ってみよぜの。

今年も内容盛りだくさん かわにし自満祭

第7回を迎えた「かわにし自満祭」は、11月3日の文化の日と翌4日の2日間、川西町総合体育館と川西中学校を会場に開催されました。

中学校体育館では、3日の「かわにし夢きゃらばん」による演劇『真史 忠臣蔵』の公演を皮切りに、4日には、錦鯉品評会やミニゴルフ大会が行われました。

地元産の新鮮で安い野菜やおいしい屋台も人気の的で、豚肉パックの販売や川西スタンプ券と鮭一尾の引換には、行列ができていました。屋内では、民謡とおどりの祭典で観客を魅了し、大なわとび大会は、98回を出した野口V7チームが優勝を飾りました。

また、総合体育館では2日間にわたり、町民文化祭かわにし2002が行われ、川西町美術展やふれあいの里かわにしビデオ上映、JA女性部による作品展示などが催され、両日とも賑わいをみせていました。

一方、総合センターでは「ゆーゆーコンサート」が開催され、会場はコーラスや演奏の美しい調べに包ま



一同勢揃い

れていました。

また、自満祭の会場まで足を運ぶことができないお年寄りのために、野口芸能保存会がデイサービスセンター・ファミリー川西へ出張し、「壁ぬりおけさ」や「剣の舞」を披露して、お年寄りから「よしたよした」と賞賛の声？を浴びていました。



ご存知「松の廊下」



迫力の討ち入りシーン



悲恋物語も…



千鳥会による「さくら音頭」



錦鯉よりも、すくった金魚の品評会！？



おいしい屋台でからだも心もあったか



「あら、いいわね！」



大人は思う「誰か引っかかってくれー」
(大なわとび)



総合センターがハーモニーホールに变身！



「いかった、いかった！」と利用者から歓喜の声が止みません(ファミリー川西)

第十回体育協会交流会 功労者表彰式と併せて開催

十一月二十三日、川西町総合センターで、川西町体育協会（保坂和則会長）主催による「第十回川西町体育協会交流会」と「第二十三回川西町体育功労者等表彰式」が挙行されました。

表彰式では、体育功労者章に、町体育協会の役員を多年にわたり務め体育振興に貢献したとして渡辺一治郎さん（高原田）が表彰されました。

表彰式のあと、川西町体育協会に所属している各地区の体育協会や、種目ごとの役員・関係者、来賓など約九十人の出席者が参加して交流会が行われました。なお、他の表彰者は次のとおりです。

◆優秀競技者章

星名 四郎（上野・剣道）

村越 祐介（野口・卓球）

片桐 健太（発電所通り西・山岳）

片桐 康太（発電所通り西・バ

イアスロン）

◆奨励者章

平野 高行（四郎兼・スキー）

登坂 竜也（赤谷・スキー）

山崎 徹（寺ヶ崎・スキー）

江口 一樹（山野田・卓球）

村越 美香（野口・卓球）

田辺 貴大（南台・空手）

高橋 寛行（東善寺・空手）

小川 諒兵（上野・陸上）

沢口 貴光（下平新田・陸上）



保坂会長から表彰状を受ける渡辺さん（右）

上野機械施設利用組合が 「日本農業賞」最優秀賞受賞！ 川西町から2年連続受賞の快挙

第32回「日本農業賞」の集団組織の部で、上野機械施設利用組合（上村稔組合長）が新潟県最優秀賞を受賞しました。

日本農業賞は、日本農業の確立をめざし意欲的に経営や技術の改善に取り組み、地域社会に貢献している農業経営者と集団組織を表彰するもので、新潟県下では、J A新潟中央会とNHK新潟放送局が主催し、新潟県が後援しています。個別経営の部と集団組織の部があり、同機械施設利用組合は、集団組織の部で県知事賞も受賞し、新潟県代表となりました。なお、川西町からの受賞は、昨年の(有)沢口養豚場（沢口茂利代表取締役）に続いて2年連続の快挙となりました。

同組合は、ほ場整備を契機に昭和48年に設立された生産組織で、育苗から調整・出荷までの稲作全般の作業、集団転作の全面管理など、水田における農作業を一手に引き受けています。加入農家は、6集落の150戸にのぼり、関係面積は155ヘクタールに達する旧上野村一円に及ぶ広域的な組織となっています。

受賞理由は、まず、この広域的な営農集団としての機能が評価されたもので、集落単位の生産組織が生産組合と機械施設利用組合に分かれて作業を行っているのに対して、同組合は作業の一本化・効率化に成功したことが上げられます。



大型コンバインによる稲刈り作業



上村組合長（左）と渡貫センター長（右）

次に、平成10年度から先駆的に取り組んでいる米の減農薬減化学肥料栽培と、生産工程の情報公開を積極的に行っていることが評価されました。

さらに、転作における大豆とそばの団地化への取り組みと実績が評価され、今後の地域農業の発展に大きな示唆を与える事例として受賞につながりました。

今回の受賞について上村稔組合長（73・下平新田）は、「これまで無我夢中でやってきました。皆様のご協力のおかげでここまでこられたと思います。設立当初から青春をかけた人たちもたくさんいます」と、組織を支える職員の労をねぎらいながらしみじみとした口調で語ってくれました。

隣で聞いていたセンター長の渡貫利夫さん（53・新町新田）は、「確かに（組合での作業が）始まったばかりのころは、ほ場が深くて機械が入らず腰まで浸かって田植えをしたこともありました。それも、過ぎてしまえばいい思い出になっています」と、当時を振り返るように語ってくれました。

渡貫さんが「今後も組織の強化と生産物の高付加価値化を図りながら、時代に沿った形で（運営を）進めていきたい」と豊富を語る姿を、目を細めて見つめる上村さんの姿が印象的でした。

快拳！ 全日本チャンバラ大会で3位入賞 ー野口の野沢さんー

11月10日、大宮武道館（埼玉県）で「第28回スポーツチャンバラ全日本選手権大会」が開かれ、野沢立也さん（32・野口）が、基本動作の部で出場者数250人の中から栄えある3位入賞を成し遂げました。

空手の型を思わせるチャンバラの「基本動作」



この競技は、ゴム製の「チャンバラ棒」を使い競技をするもので、小太刀、長剣、二刀、基本動作、得物自由の5種目があり、十日町スポーツチャンバラ協会に所属する野沢さんは、毎週火・土曜の夜に十日町市西小学校で練習に励んでいます。

チャンバラを始めて3年経ち、今ではインストラクターと審判員の資格を持つ野沢さんは、「仲間が主催した大会に飛び入り参加をし、ものすごくおもしろかったです。中学のとき剣道部に入っていたこともあり、やれるんじゃないかと勘違いをしたんです」というのが、チャンバラにはまったきっかけとのこと。

「まだまだチャンバラ人口は少ないので、ぜひみなさんにやってもらいたいですね。きっと、楽しくてやめられなくなりますよ」と、チャンバラ棒を構えながらにこやかに話す野沢さんでした。

祝二十五万人達成！

く千手温泉・千年の湯が一歳になりましたく

昨年十一月二十三日にオープンした千手温泉・千年の湯が、十一月二十一日に入館者数二十五万人を達成し、二十五万人目の入田吉ノ助さん（72・十日町市稲葉）に魚沼産コシヒカリ一俵などの記念品が贈られました。

また、二十三日と二十四日には一周年記念イベントが行われました。両日ともに雲ひとつない秋晴れの空の下、訪れた子ども連れの家族などの、屋台の温かいそばや豚汁をほおばる姿が見られ、お楽しみ抽選会や杵つき餅には長蛇の列ができていました。

そして、振る舞われたお餅を食べながら足湯につかる子ども達の歓声が湯気に乗って流れ、小春日を浴びた千手温泉は、終日ほのぼのとした空気に包まれていました。



「あったかいね」ふたり仲良く足湯でくつろぐ

表彰されました！

中條勝さんに
農林水産大臣感謝状

十月十八日の「統計の日」、岩瀬の中條勝さん（66）に農林水産大臣から永年協力者として感謝状が授与されました。

中條さんは、農業経営統計調査に協力をして以来、十年の長きにわたり、農業及び農業以外の日々の取り引き、労働時間などについて毎日記帳するなど積極的に調査に取り組んできました。

この調査結果は、農家の経営安定対策及び価格安定対策など各種農業施策展開のためになくてはならない基礎資料として広く活用されています。

丸山ミチ子さんに
社会保険事務局局長表彰

原田の丸山ミチ子さん（71）が、十三年にわたり国民年金委員を務めた功労から新潟社会保険事務局局長表彰を受けました。

丸山さんは、平成元年に就任以来、国民年金の相談や加入促進に尽力してきたことが認められ、十一月十一日に役場町長室で社会保険事務局六日町事務所長による伝達式が行われました。

丸山さんは、同じく務めてきた民生委員の立場からも、地域住民の相談役として現在も活動を続けています。

樋口虎一さんに
全国保護司連盟会長表彰

田戸の樋口虎一さん（76）が、二十年にわたる保護司を務めた功労から全国保護司連盟会長表彰を受けました。

樋口さんは、昭和五十八年から保護司として犯罪の予防と更生保護に努めてきたことが認められ、この賞につながりました。

現在は、十日町中魚沼地区保護司会の川西分区分長として、定期的に開催される地域別研修会にも精力的に参加され、活躍しています。



お寄せください あなたの 意見・提案・質問

牛乳のパックをビンに変更できないか。

②地球温暖化防止のため、アイドリングストップを町民、各事業所などへも推進してほしい。（意味、効果を知らない人もいます）

〈前向きに働きかけます〉

A. ①町の学校給食用牛乳については、一日平均七七〇本のパック牛乳（一本二〇〇cc）が納入業者により小、中学校に直接納入されています。（仙田小学校については給食センターに納品されたものを、給食運搬時に配送しています）

納入業者については県が入札で決定します。入札をするにあたっては、市町村の教育委員会からの報告をもととして、効率的な配送経路や供給量、供給形態を配慮した区域を設定し、区域ごとに落札した業者を納入業者（供給事業者）として決定しています。

現在、町への納入業者は「新潟県酪農業協同組合連合会」で、牛乳は自社工場で製造されています。この工場での牛乳生産ラインはパックのみであり、ビンの製造は行っていない。

Q. ①森林破壊をくい止める身近な活動として、学校給食用

身近な環境対策を

ビン牛乳を飲用している学校もあります。津南町、中里村、十日町市、それに小千谷区域についても納入業者が川西町と同じため、パック牛乳を飲用しています。



みんなで食べる楽しい給食

ビン牛乳を飲用するためには、ビン牛乳製造ライン工場を持つている区域への変更が必要ですが、県が納入業者を決定している中で、川西町だけが変更することは難しいかと思われます。

確かに資源循環の面ではビン再利用ができますが、ビン洗浄するには大量の水が必要と

なり、水環境等に与える影響も生じてくる可能性があります。

しかし、循環型社会形成の面からするとビンに切り替えることはリサイクル・リユースを推進し、森林破壊をくい止めることにつながります。

他地区では、以前よりビンへの切り替え要望があり、納入業者がビン牛乳製造ライン工場を新設したところにより実現しているところもあります。

現段階では、すぐにパックをビンに変更することはできませんが、こうした地域の声が、水環境にも配慮したビン牛乳製造ラインの整備につながっていくと考えられますので、関係市町村とも連携を図りながら働きかけを進めていきたいと思っています。

②地球温暖化をはじめとする環境問題解決のためには、住民、事業者、行政が、自らの行動を環境に負担の少ないものに転換し、持続的発展が可能な循環型社会を構築するための活動が必要になります。

無用なアイドリング（自動車が走行してないときもエンジン動かしておくこと）は、地球温暖化、大気汚染、酸性雨、化石

燃料の無駄使いなどを招きます。アイドリングストップは、私たちがすぐ実行できることです。走行してないときは、車のエンジンを止める、急加速・急発進しないなどエコ・ドライブを心がけるように、広報や集会等で積極的に呼びかけたいと考えています。

環境に配慮したご提言をありがとうございます。

通行しやすい歩道整備を

Q. 県道の歩道は、狭い上に流雪溝のふたなどがあつてベビーカーを押すとガタガタする。歩行者が通行しやすい歩道整備をお願いしたい。



多くの歩道が流雪溝と同居しています

へバリアフリー化に努めます

A. ご指摘のとおり、県道の歩道については幅員が狭く歩行者や、車イス・乳母車などのす

れ違いにはご苦労いただいているか所があることは承知しております。

この原因には、道路改良をする際に、十分な幅員がとれないことがあげられます。歩行者と車の交通の利便を図るために、周辺土地地権者の方々から大切な用地を提供していただきながら施工しなければならぬ事情があつて、最大限の用地を確保したとしても、幅員不足でご不便をかけているか所が生じています。

道路管理者も、皆様からお寄せいただいている苦情やお願いには最大限お応えしたいと困難か所の改良に努めています。また、これからの歩道改良では、バリアフリー対策として歩道のフラット化に努めているところ

です。流雪溝のふたの問題につきましても、歩道改良と関係係にありますので、ご理解をいただきたいと思ひます。

日曜日も窓口業務を

Q. 現在実施されている毎週月曜の業務時間延長は、確かに町民の中ではある程度評価されているが、まだ十分とはいえない。月一度でも良いので日曜業務を考へてほしい。

〈課題解決が重要です〉

A. 窓口住民サービスの更なる改善策について、ご提案いただきありがとうございます。



窓口では様々な用件に対応しています

現在実施している毎週月曜日の窓口業務の時間延長は、住民福祉課、保健課及び税務課の三課がそれぞれ二～三人の職員を配置し、振替勤務で対応しています。近隣市町村でも似たような方法で対応しているのが実態です。業務内容はいずれも各種証明書の交付が主であり、ほかに相談業務といったところが中心です。

また、現在各種証明書の発行は、そのほとんどが電算会社とオンラインで結ばれて出力しており、毎週月曜日一時間のコンピュータの延長稼働料金も年間

をトータルしますと一〇〇万円近い金額になることをご参考までに申し上げておきます。

そんな中で、現在各地で各種証明書の不正請求による犯罪（詐欺）行為が大きな社会問題となっていることも事実です。証明書の交付については、申請時若しくは交付時に本人確認（代理人の場合は本人の委任状）が義務付けられていますが、そのチェックが完璧にできないことが大きな要因と考えられます。これは個人の身分や財産を保護する立場にある行政機関の最も注意を払わなければならない事項です。

したがって、ただ単に住民サービスの拡大を図るために業務時間の延長にプラスして、日曜日の窓口業務を実施することには、いささか問題もあると考えます。

ただ、窓口業務にも様々なケースがあり、個々の事例に合わせた対応が可能な場合もありますので、その都度お早めに担当課にお電話いただければ幸いです。

なお、戸籍関係（出生、婚姻、死亡等）の届出につきましては、戸籍法に基づき年間を通していつでも受け付けできるよう体制を整えてありますことを申し添えます。

窓口対応の改善を

（41歳・女性）

Q. 窓口の職員で愛想なく対応する人がいる。書類も手渡すだけで説明をしてくれなかった。課内で接遇の指導を行い、少しずつでもよいから住民対応を改善するようお願いしたい。

〈改善します〉

A. 窓口職員の対応の不適切さをご指摘いただきましたが、申し訳なく思うとともに深く反省をしているところです。

いただいたはがきは、関係者全員に回覧するとともに、窓口対応の職員一人ずつに接遇の大切さを再認識するよう改めて喚起しました。



職員を対象にした接遇研修の様子

あいさつは、人と人との心の触れ合いに欠かせません。役場の窓口でのお客さんの応接もまずはあいさつから始めなければなりませんし、あいさつの大切さを職員に諭し実践しています。大きな声を出せない職員が中にはいます。こうした職員には注意の意味も込めて逆に大きな声で言葉掛けをしています。

また、役場では、各課ごとに朝礼をしています。それぞれ工夫をして実施しているところ。朝礼を行うことにより、一日の仕事に対する気構えが整います。

窓口でのお客さんへの対応は、分かりやすく親切にしなければなりません。電話対応についても、てきぱきとするように指導をしています。心を込めてのあいさつは当然のことですが、忙しいときなどは、なかなかうまくいかない職員がいるので、引き続き目配りをしてまいります。

窓口を担当する職員や若い職員には、県町村人人事務組合が実施する接遇研修に積極的に参加させてきました。今年からは、町職員の中にも職員研修講師がいますので、役場において窓口応対や電話応対などの職員研修を始めました。

このように、いろいろと接遇

についての方策を立てて実施していますので、少しずつかも知れませんが、良い方向に進むものと考えています。

また、分らないこと、疑問などがありましたら、お気軽にご相談いただいたり、電話照会などをしていただきたいと存じます。

集落夫役での高齢世帯の負担軽減を

(77歳・男性)

Q. 高齢世帯には、国や自治体は手厚い福祉施策を実施しているが、集落自治においては、夫役などを高齢世帯にも一律に課しているところがある。夫役が身体具合が悪いなどで無理な場合は、強制しないように行政指導を願いたい。

〈地域全体で支えましょう〉

A. 少子高齢化が全国的な問題として広がっている中、国では、今後五か年の高齢者保健福祉施策の方向として、ゴールドプラン21を策定しました。その基本的目標の中に「支え合う地域社会の形成」が掲げられ、地域生活支援体制の整備が示されています。

一人暮らしの高齢の方や高齢者世帯の方が、住み慣れた地域で生きがいを持って暮らしていくためには、人と人のつながりが希薄化する現代にあつて、地域社会が果たすべき「支え合い(共助)」の役割」を評価し直し、生活全般にわたる支援体制を整備する必要があります。

さて、川西町の高齢化率は二八パーセントを超えています。また、六五歳以上の一人暮らしの方は一三〇人ほどで、お年寄りだけの世帯は二三〇世帯ほどあります。町では、「人が元気、町が元気、自然が元気」を合言葉に「住民主体のまちづくり」を

目指しながら行政を進めています。こうした中、高齢の人も障害のある人も分け隔てなく地域社会で共に助け合つて暮らしていくという「ノーマライゼーション」の理念が広がっています。

さて、本題ですが、集落内での取り決めは、集落総会などを開き、住民の総意としてまとめられたものですので、行政としては指導をする立場にはありません。

せき払い等の夫役も集落で決定したことですので、体の具合が悪く、代わりに出役する身内が近間にいない場合はどうするかなどのとり決めも総会などに諮り、定めて置くことが求められます。

集落コミュニティの発展の度合いが地区住民の暮らしやすさを左右します。とりわけ少子高齢社会では、集落内での助け合いが大切となります。

今後も、住民の皆さんから、ともに支え合うノーマライゼーションの思想を高めていただくとともに、高齢世帯の方が安心して住むことができる集落となるよう英知を結集されることに、大きく期待したいと思います。

自殺が多い原因は？

(80歳・男性)

Q. 自殺の多い新潟県にあり(全国第二位)、川西町では昨年八人、今年は既に五人となつているとのこと。原因は何か？男女の比率は？

〈情報をお寄せください〉

A. 全国で平成十二年に自殺された方は、三三、〇四八人となり、二年連続で三万人を超えています。交通事故死での死亡者は、一万人前後となつておりますので、自殺者は交通事故死の三倍以上にのぼっています。昨年の八人の方は、女性五人・男性三人となつています。地域は町内全域にわたっています。

直接原因は不明ですが、持病や慢性疾患を患っていた方が多いようです。

自殺を防ぐ方法は、家族や近隣、友達が暖かく声を掛けてやったり、話を聴いてやることが大切といわれています。

「まさかあの人が」と結果が出て始めて知ることが多いのですが、本人からは、何らかのサインが出ているとも云われています。

閉じこもりにならないように、させないように地域の皆で支えてあげていただきたいと思っています。

老人クラブ連合会による寝たきりや一人暮らし老人等を対象にした友愛訪問や、社会福祉協議会による高齢者配食サービス事業においても、安否確認を合わせて実施しています。

そのほか身近な情報を、民生委員さんや保護司さん、又は保健師に情報や電話や手紙でお寄せください。お待ちしております。

街灯を整備して！

Q. 住んでいる地域の夜が暗い。夜の配り物は、真暗の場所が多く怖い。せめて中心の集落センター付近は、もっと明るくても良い



計画的に進められる街路灯の設置工事

はず。
照明の設備を整え、夜も明るい町づくりを提案します。

〈集落要望をあげてください〉

A. 街路灯の要望につきましては、例年、町政事務嘱託員を通して町へ申請書を提出していただいています。

設置費(手続き及び工事費)は町で負担しますが、その後の維持管理・電気料については、設置町内に負担をお願いいたしますことから、ご提案の集落センター付近の照明設備につきましても、集落内でご協議いただき、要望されますようお願いいたします。

街路灯につきましては、防犯意識や集落自治の向上のため、行政と地域住民が一体となつて取り組むことが重要ですので、今後ともご協力をお願いいたします。

エコバック利用促進 のアイデアを！

(40歳・女性)

Q. ①町で配った緑色の袋（エコバック）は、あまり使っている人が見られない。持参した人に各店で「スタンプ」をつけるなど、利用促進方法を少し考えてほしい。

②川西町には自慢できるものがない。プールやエアロビが出来た施設が欲しい。

へスタンプや割引もあります

A. ①町では、環境に配慮した買い物をしていただくため、全世帯に買い物袋（エコバック）を今年三月に配布しました。



エコバックを使って買い物が上手になりました

最近、あまり見受けられないのは残念なことですが、年代によっては結構利用されていると思っています。

広報紙や公衆衛生推進員を通じて利用を呼びかけていますが、JAや量販店では、買い物

袋の持参者にスタンプを押し、販売品の割引等も実施しています。細かいことは、お店に問い合わせてください。

スーパーなどでレジ袋をもら

わずかに、買い物袋を持参し使用することで資源の節約やごみの減量につながります。また、無駄な包装は断り、ばら売りや詰め替え商品など簡易な包装の商品や、古紙などを使った環境にやさしい商品の購入に努めましょう。

十一月から「買い物でくらしを変えよう・ごみ半減運動」を県下で実施しています。お互いに呼びかけ合い、買い物袋を利用してくださいさるようお願いします。

②「自慢できる」と感じられるかどうかは個人の認識によるところが大きいですが、町としては「千手温泉」、「ナカゴグリーンパーク」、「光の館」などは、他の市町村にはない、自慢できるものと思っています。

プールや、エアロビクスなどができる施設が欲しいとの要望ですが、町では「賑わい空間創出事業」の中で、「健康プール」を十五〜十六年度の予定で建設します。また同事業で計画している「コミュニティ施設」の中には多目的ホールもありますので、大人数でも対応できると考

えています。

千手温泉 ここを直して！

(60歳・男性) ほか

Q. ①千手温泉はとてもいい温泉でよく利用するが、洗い場が狭くて順番待ちになる。何とかならないか。

②自動販売機で購入した入館券の半券を利用して領収書を発行してもらいたい。入湯券を買っても職員を探して渡す場面や、渡さないでいる人、混雑を利用して無賃入浴をするなどがある。玄関の構造にも問題があるのではないか。

へ見込みオーバーでうれしい悲鳴です

A. ①日頃より千手温泉「千年の湯」をご利用いただきありがとうございます。

さて、千手温泉は一日の入浴客を四百人から五百人程度に見込んで設計してあります。一日の入浴客をどの程度に見込むかは、浴槽の大きさ、洗い場の数、洗面台の数、休憩室の広さなど全てに影響することから、旧温泉施設の利用実績を踏まえて慎重に検討した結果、この規模となりました。

おかげさまで、千手温泉は昨年十一月二十三日のオープン以来、本年十一月末日現在までに二万五千五百七十三人のご利用があり、一日平均利用は六八八人となっています。つまり、見込みより一日平均二〇〇人、休日には一〇〇〇人を越える皆様からご利用いただいています。結果として混雑することになり、その分お客様にはご迷惑をおかけしていることになります。

少し入浴客の推移を見た上で検討したいと考えています。ご理解をお願いいたします。

②（回答／千手温泉管理受託者 株まちづくり川西）日頃、千手温泉「千年の湯」をご利用いただき感謝申し上げます。

ご提言に関しましては現在次のように取り扱っているところです。



泉質の高さで人気の千年の湯

領収書発行の件につきまして、自動販売機の機能として内蔵されており、必要の方には発行できるシステムとなっています。わかりにくい点がありますので、表示等によりわかりやすく対処するようにいたします。

入館に際しての入館券の取り扱いですが、ご指摘の事例があったことも事実です。建物の構造にも問題があるわけですが、今のところ改修する予定はありません。従業員による運営管理の適正に努めてまいりたいと考えています。

貴重なご意見誠にありがとうございます。

今後とも当施設をご利用いただきますようお願い申し上げます。

見込みを大幅に越える皆様からご利用いただいていることは大変ありがたいことですが、今は過渡期であることから、もう

税金は 日本を支える エネルギー

川西中学校三年 蔵品 欣士

毎年十一月十一日から十七日までの期間は、「税を知る週間」です。

本年度も租税教育の一環として、次代を担う中学生に税に対して親しみを持つてもらい、併せて租税の役割・使われ方について正しい知識と理解を深めてもらおうと税に関する作文や標語を募集しました。

この機会に、税について考えてみてはいかがでしょう。
作文・標語の入選作品を紹介します。

■作文の部

◎新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

◎十日町税務署長賞

「おじさんの笑顔から」

三年 高橋 彩乃

川西町租税教育推進協議会長賞

◎入選

「税金で変わる未来」

三年 丸山 由香里

「ふとしたところに税金」

三年 山家 紗恵子

◎佳作

三年 小林香葉子、増田紗千

押木瑞紀、押木裕弥

南雲 革、中村琴美

村越大樹

■標語の部

◎十日町税務署長賞 優秀

「税金は 日本を支える

エネルギー」

三年 蔵品 欣士

◎十日町税務署長賞 佳作

「税金で 豊かな暮らし

皆の笑顔」

二年 茂野 美咲

川西町租税教育推進協議会長賞

◎入選

「支え合い 税で繋がる

みんなのくらし」

三年 押木 瑞紀

「税金で 安全快適

僕らの暮らし」

三年 丸山 洋祐

「いきている みんなの税金

まちのなか」

二年 登坂 綾乃

「税金を 納めて築こう

わが町を」

一年 尾身 李奈

「税金を 納めて安心

我が暮らし」

一年 戸田 彩加

「町作り ぼくらの税金

生きている」

一年 田口 裕也

◎佳作

三年 星名育美、丸山 剛

南雲啓太、平野詩織

小川絢香

二年 滋野真未、蔵品 建

中川広也、金子喜由

高橋あずさ、小林友利恵

一年 登坂 涼、星名美香

片桐涼子、馬場健介

田村沙織

「おじさんの笑顔から」

川西中学校三年 高橋 彩乃



いつ会いにいっても、おじさんは必ずニコニコしています。その笑顔を見ていると、私も思わず笑顔を返したくなります。おじさんは私のおじいちゃん

の弟で、小さい頃の病気のため、耳が聞こえないし話すこともできません。しかし、畑仕事をしたり、自分で料理をしたりと、毎日元気に暮らしています。時々私達が会いに行くと、そのたびに本当にうれしそうな顔で出迎えてくれます。そして必ず兄弟三人分のおこずかいをくれます。

ある日私は、働いていないおじさんがなぜそんなにお金をもっているのかと不思議に思いました。そして先日、それが税金のおかげであることを知りました。新潟県内の市町村では、税金の約二〇％を民生費というお年寄りや障害者の生活を助けるために使っているのだそうです。税金がこういう風に身近な所で使われていることを始めて

知りました。そしてその税金は、国民の皆さん一人一人によってまかなわれているのです。もしこの税金がなくなってしまうと、私のおじさんだけでなく、他にもたくさんの方が安心して暮らせなくなります。納税の大切さを改めて知りました。

これから先、私達中学生もやがて大人になり、税金を納めなければならぬ時がやってきます。めんどくに思ったり、いやだと思ったりすることがあるかもしれませんが、でも一人一人の長い人生の中で、納めた税金はお金ではなく、何か別の形で私達の生活を、快適にしてくれるのだと思います。それは、ゴミの収集であったり、たくさんの方の公共施設であったり、医療費の個人負担の軽減であったり本当に様々です。だからこそ、私達の世代から税金や納税の仕組みを理解していく必要があるのです。

おじさんがいつも笑顔でいられるのは税金のおかげです。そしてその笑顔のおかげで私達も笑顔になることができるのです。これからは今まで以上に、おじさんからもらったおこずかいの重みと、おじさんの笑顔を忘れずにいたいのです。



仙田農村公園の「河童の吊橋」も、建設財源はすべて税金です

赤谷と赤谷城主

アカタニというのは近年のことで、昔はアガタンと呼ぶ人が多かったような気がする。赤谷という呼び名が、どういうことで付けられたのかわからない。前に述べたことのある赤羽根地名と同じように、赤色の土層が顔を出している谷という意味であつたのではないか。地形から出た呼び名であろうから、ムラの開発は古く、恐らくは鎌倉時代以前にさかのぼると見て差し支えないのではないか。このことは、仙田郷全体についても同様である。



古杉が並ぶ赤谷城跡の主郭

貞享年間につくられたと思える古地図があり、赤谷城が書き込まれ、南北二四間・東西四間の城地がある。「三河玄蕃守様古城、貞享年中より先四百五拾以前と申候」と付記されているので、年代を計算してみると、在城は鎌倉時代となる。すでに源頼朝はもとより、頼家・実朝も亡くなって、源氏は滅亡して北

条氏の時代になったところになる。

源頼朝が全国から特技を持つ若者を招集して、建久三年（一一九二）に富士山麓で大がかりな巻狩を行ったという、俗に「富士巻狩文書」と呼ばれる古い資料がある。中魚沼にも数通伝えられているが、この巻狩は事実無根であることから、せっかくの鎌倉時代初期の文書とはいっても、完全な偽物であると見られている。

赤谷城主という三河玄蕃守の名前は、ずっと後世の呼び名で

一は南北朝時代の正平七年（一三五二）築城と伝え、第二の上野氏が城については永正三年（一五〇六）譲状がある。赤谷城の存在は、節黒城の第一・第二の時代とも、直接的なつながりがあったものと考えて差し支えないだろう。

もちろん、赤谷のムラづくりはずっと先の時代であろう。具体的な資料では正保二年（一六四五）絵図が初見で、石高四二石余の記載がある。

天和三年（一六八三）検地帳

おらムラの話

（第二十回）

上野 上村 政基

あるように思われるし、計算して得られる年代に、当地方に築城の事実があつたとも考えられない。また、開発の中心になった豪族であるとも思えない。どこかの誰かが、思いつきで言い始めた架空の城主名ではないだろうか。

しかし、城主の名は別として、上野の節黒城と密接なつながりがあったことは確かで、双方の城が真つすぐ見通せるように、中間の尾根を人工で切り開いていることが確認されている。節黒城の時代は明らかで、第

七軒が描かれている。元禄七年（一六九四）村鑑には、家一七軒・人数一六七人・馬七匹とある。

街道と大けやきと茶屋

川西地方と柏崎を結ぶ道を柏崎街道と呼び、榎峠から白倉・野口へ行くのが本道であつたけれども、榎峠から分かれて南の尾根伝いに進み、赤谷・上野峠・千手と行くのが本道だったのだと赤谷の人たちはいつていた。刈羽街道・三国街道とも呼んでいたという。

高耕地山から下りになって、ノゾキ沢にくると、洪海川の近くに大きなけやきの立っているのが見える。ここでオーイと大声をあげるのを川岸の茶屋が聞きつけると、そら客人が来るぞと、人数を見はからつてみそ汁を仕立てて炉に掛ける。坂をおりてくる間に、ちょうど汁が煮上がっていて、旅人たちに喜ばれたという。



大けやきには数々の伝説が秘められています

洪海川には橋がなくて、渡し船で越えた。大水で川が荒れる

と舟を出せなくなり、やむを得ず茶屋に泊まった。

茶屋は、広い部屋が二部屋続きで、頭のつかえるような天井の低い中二階もあり、大勢が泊まることができた。一日に米一俵も炊いたことがあるし、銭を吠に入れて土蔵に納めていたものだーと、当時の使用人が語っていた。

渡しを越えようと、つま先登りの坂で、ムケノサカ（向の坂）には地藏や供養塔が並び、フルジョウ（古城）と呼ぶ城跡の傍を過ぎていく。峠の手前には、越ヶ沢の上村があつて茶屋も出ていた。

十二社境内の大けやきは、長く村人たちの信仰が寄せられており、昭和三十三年に天然記念物の新潟県文化財として指定された。

いろいろな伝説を伴っているけれども、木の皮を身につけていると災難に遭わないと信じられており、出征兵士は千人針といっしょに腹に巻いて戦線へ向かった。西南戦争のときから大勢の兵隊を送ったが、第二次世界大戦の末期になつてはじめて戦死者があつた。

遠い旅をするときも、出稼ぎにいくときもお守りに入れたし、無事に出産できるように安産のお守りにもしてきた。家内安全・繁栄が祈られている。

特集2 真剣に考えよう 合併について

その十四



町では市町村合併に対しての考え方を示し、住民懇談会を通して住民の皆様のご意見を多数伺うことができました。今後は任意合併協議会に加入し、合併問題についての詳細な検討を行ってまいります。

住民懇談会終了しました

十月二十九日から十一月二十六日までの十九日間、延べ二十一会場で実施した市町村合併住民懇談会が終了しました。参加状況は「別表1」をご覧ください。懇談会には、田口町長、押木助役、根津収入役、小海教育長が出席し、まず田口町長が市町村合併に対する基本的な考え方を説明し、次に担当職員の資料説明、そして懇談という日程で進めました。

懇談での質疑応答

今月号では十一月一日から七日までの四会場での質疑応答の



データを使っでの説明

住民として感謝します

内容に掲載します。なお、それぞれの会場で同じ質問が出されたものは、先に開催した会場分を掲載し、後のものは割愛しました。

■仙田コミュニティセンター(仙田)

意見(男性) 市町村合併問題に対しての住民懇談会場の設営状況を他市町村と比較すると、川西町では二十一会場と多く設営しています。合併問題を住民

一人ひとりに理解していただきたい表れと感謝します。住民と行政が力を合わせれば、考えている以上のメリットを勝ち取ることができるのではないのでしょうか。

質問(男性) 書籍などでは地方分権の受け皿として、人口規模十万人くらいが妥当と書かれていました。六市町村の人口規模でも大丈夫ですか。

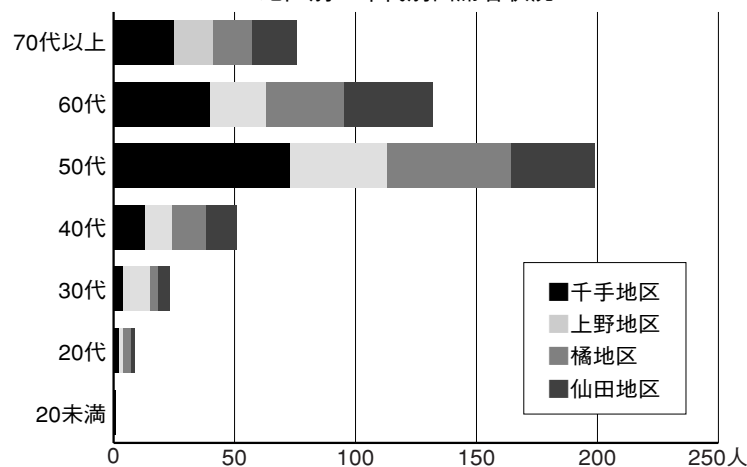
田口町長 政府は人口が十万人規模になると自治体としての力が発揮できると考えています。しかし、全国的にもこの圏域のように、十万人に満たない中山間地域が多くありますので、それは仕方ないことと考えています。

保育園や小学校は今後の課題

質問(男性) 仙田地区では少子化の影響で保育園や小学校の存続が危ぶまれますが、このような問題は合併協議会で検討するのか、合併後に検討するのか

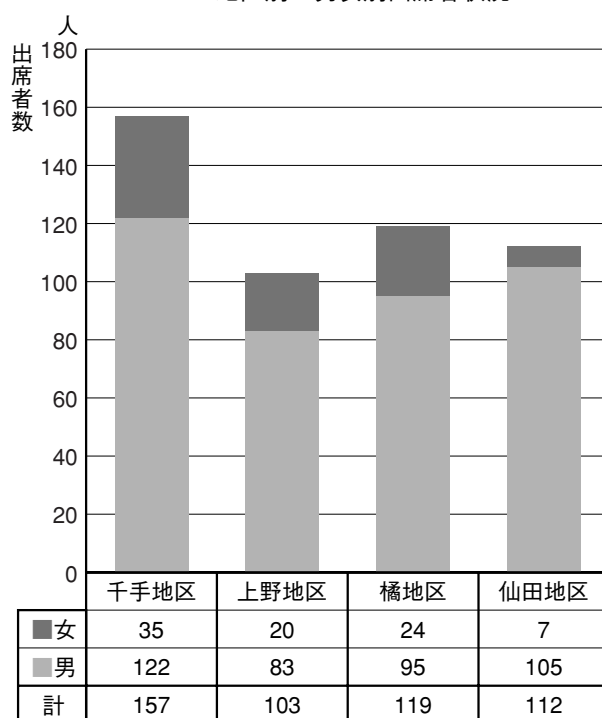
別表1 住民懇談会参加状況

地区別・年代別出席者状況



	20未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
千手地区	0	2	4	13	73	40	25	157
上野地区	0	2	11	11	40	23	16	103
橘地区	0	3	3	14	51	32	16	119
仙田地区	1	2	5	13	35	37	19	112
計	1	9	23	51	199	132	76	491
比率	0.2%	1.6%	3.5%	8.6%	32.0%	23.2%	13.4%	100%

地区別・男女別出席者状況



お尋ねします。

田口町長 行政の効率化やコストの目を捉えれば、園児や児童をバスで送迎した方が良くと考えます。しかし地域に子供のいる施設がないと、地区の核が消えてしまうことになります。合併とは切り離して、そのような気運が盛り上がった時に、真剣に検討したらいかがでしょうか。



河童の吊橋渡り初めの日、記念植樹をする仙田緑の少年団

質問（男性） 現在、過疎バスを運行していますが、存続についてどの段階で検討しますか。

田口町長 過疎バスについては当然に継続していきたいと考えていますが、いくら過疎バスであっても利用状況によっては止めざるを得ないこともあります。地域の皆様ができるだけバスを利用していただくことが、継続につながります。

質問（男性） 合併後の優遇措置は、新市の市長が決定するのですか。または、川西町としての意見を持つて要望事項として取り上げることが可能ですか。

田口町長 合併した場合の特例債などの優遇される事業は、新しい市の建設計画に反映されます。川西町としても住民の皆様のご意見を反映しながら、合併後の川西地区の計画をまとめ、新市の建設計画の中に組み込まれるよう調整を図りたいと考えています。

質問（男性） 今年一月に実施したアンケートは、川西町独自のものか、あるいは他市町村との整合を図ったものですか。

担当職員 川西町の町民を対象に実施したもので、その対応策についても、他市町村と協議したものではありません。川西町独自のものです。

質問（男性） 合併時の対策の中に「支所機能」などの対応策があります。予算執行の権限まで与えられるかという点で疑問であり、そこでは直接住民サ

自ら汗を流して地域づくり



仙田地域独自のイベントとして定着した山菜祭り

ービスができないのではないのでしょうか。川西町の発足当時から最初支所が充実し、支所長の権限もありましたが、徐々に縮小された経緯があります。今回の合併でもそのようなことも予測されますので、その点についてどう対応されるのか、川西町という立場で、今後の協議に臨

んでください。

また、川西町は細やかなところまで行政サービスが行き届いており、住民もそれに慣れている状態ですので、少しでもサービスが後退したら不満が出ると思われるし、財政的な事情から、今の状態は維持できないことも予測されますので、その点

を町民から良く認識していただき、合併に取り組んでください。

田口町長 国土保全の面から中山間地域を守る方々が、その地域で生活できることが大切だと考えています。これからの地域づくり、地域コミュニティの形成には、道普請やせき払いなど、「自分たちでできる事は、自分たちで汗を流す」という「地域自治」、「住民自治」が重要になります。そして、自分たちの意見をまとめる組織づくりを進めていく必要があると考えています。

■鶴霜集落開発センター（千手）

質問（男性） 今春、旧大宮市に出かけた際に、合併して、さいたま市になっていました。ここでは、最寄りの駅で用事を足せる場所を案内するサービスをしていました。合併したらこのような対応も大切ではないでしょうか。

川西町役場を支所へ

田口町長 会議や難しい用件は本庁に出かけることになると思いますが、窓口業務を主体とした用件は、現在の川西町役場を支所として残し、対応したいと考えています。

質問（男性） 合併した場合に

川西町職員の給与はどうなりますか。

押木助役 給与体系は六市町村でバラつきがあり、川西町は下から二番目です。川西町職員としても一本化が望ましいと思いますが、今後、合併協議会での話し合いで決まっていくと思います。

川西町らしさがなくなる？

質問（女性） 深い根拠はありませんが、何となく合併はしない方が良くと思います。十日町は織物で栄えたことから、行政の考え方は商業的、川西町は農業を主体としての町づくりを進めてきたことから、合併した場合に、千手温泉などに見られる「川西町らしさ」がなくなつて



千手温泉で行なわれたうなぎのつかみどり

しまいそうで心配です。

田口町長 中魚沼郡の三町村は農業を主体とした産業構造を持っていますので、似たもの同士であり合併はスムーズに進むと思います。しかし、中魚沼郡で川西町は、十日町市が間にあることから飛び地になっていると思います。十日町市とは日常生活圏をともにしており、合併には十日町市を外せないと考えています。

■伊友公民館（千手）

意見（男性） 行政で情報を提供しているにも関わらず、参集者が少ないのは、市町村合併に対して「仕方ない」「やむを得ない」と思っている人が多いのではないのでしょうか。

質問（男性） 合併後のまちづくりについて、資料の中に情報化による行政サービスの提供と書かれていますが、高齢者の方がついて行けるか心配です。

田口町長 これからは世界中の情報はどこに居ても受発信できるような情報関連施設整備をしないと、川西町から若者が離れていく懸念があります。これは

産業についても同様のことが言えると思います。情報の格差があつてはいけませんし、情報の基盤整備は、新幹線や高速道路に匹敵する基盤ですので、早めに整備したいと思います。

若者が定住できる産業の誘致

質問（男性） 若者が定住できるような産業を誘致してはどうか。

田口町長 この地域は農業農村を基盤として歩んできましたし、これからもこの基盤は変わらないと思います。上越魚沼地



伊友公民館

域振興快速道路の整備が進んでいます。今後設置する十日町インターの近くに、工場を誘致するエリアを整備するよう提言しなければいけないと思います。

質問（男性） 合併後五年間や十年間で、川西地区への公共投資がどのくらいになるのか決まっていますか。

田口町長 現段階では示されておりませんが、これから設立する任意合併協議会で検討・調整することになります。

質問（男性） 基盤整備がほぼ完了している川西町と、整備が残っている地域とが合併する場合、対等となる条件をどのように調整しますか。

田口町長 調整方法なども任意合併協議会ですり合わせを行わないと説明できない問題です。

中高一貫教育を

質問（男性） 川西町へ中高一貫教育の学校を誘致できないでしょうか。

小海教育長 新潟県下では現在八学区ありますが、それぞれの学区ごとに一校を設置する意気込みで取り組んでおります。この地域は中魚十日町地区で学区が編成され、津南町が実現に向けて取り組んでおりますが、先行きが不透明です。今のところ

実現できるか決まっています。注視をしたいと思います。

意見（男性） 中心地である十日町市の行政と議会との関係に不安があります。そのことから川西町長と中里村長には期待が大きいと思われ、任意合併協議会での調整をスムーズに行い、より良い合併が実現できるよう努力してください。

■元町集落開発センター（上野）

質問（男性） 新しい市役所の位置はすでに決まっていますか。

田口町長 それらを今後の合併協議会で話し合っていくことになります。ただし、現在の市役所では手狭になることから、広い用地を確保できる場所になるのではないかと思います。

借金は合算されるの？

質問（男性） 各市町村でそれぞれ借入金がありますが、合併すると合算されて新しい市で返済することになりますか。その場合に税金が上がりますか。

田口町長 合併すると財布が一つになりますので、新しい市で返済していくことになります。税金については、合併の弊害を防止するための交付金などがありますが、それらを活用して今までの借入金を返済することも可能です。



元町集落開発センター

でが有利な借金ができるように
なっていますので、合併後十年
間で財政の健全化を図っていく
必要があります。また十日町市
の借金残高は多いですが、住民
一人当たりで比較すると川西町
の方が多くなります。

質問(男性) 借金をした方が
有利という見方もできますが、
それぞれの集落の要望事項を合
併までに実現できないでしょう
か。

田口町長 借金をする場合には
財政状況に応じて借入できる額

「合併検討のこれから・これ
まで」のコーナーを分割し、今
月号から「こちら任意協議会」
と「かわにし合併物語」のコー
ナーを設けました。

こちら任意協議会

今年二十五日に設立予定の
「合併任意協議会」では、これ
から独自の広報紙を作成し、圏
域の住民の皆様へ情報を提供し
ていくものと思いますが、川西
町でも同協議会の動きや取組み
状況などを、このコーナーでお
知らせしていきたいと思っています。

合併任意協議会設立準備会を設置

を県から制限される場合もあり
ますので、合併の駆け込み事業
を積極的に進めようとしても借
入できない場合があります。な
お、合併特例債については、合
併を前提にした事業への支援策
として借入できますので、任意
合併協議会の段階での借入はで
きないと思います。

◆貴重なご意見をありがとうございます
ございました。次号では十一月十
日以降の会場でのご意見を掲載
します。

本年四月から十日町広域圏の
六市町村で合併に対する話し合
いが進められてきましたが、十
月二十五日に松之山町で開催
された、第七回十日町広域圏六
市町村合併問題研究懇談会(座
長・山本中里村長)の席上で、
合併に向けた協議の場である
「合併任意協議会」設立のため
に、「設立準備会」を同日付け
で設置することを決定しまし
た。

設立準備会では？

準備会の会長には、山本中里
村長が就任し、事務局を中里村
役場内に設置しました。

設置期間は約一か月で、各市

町村から職員を一名ずつ派遣
し、今年二十五日の「合併任意
協議会」の設立を目指し、準備
を進めています。



設立準備会事務局

今検討されている原案です

合併任意協議会の体制や検討
課題などは、正式には第一回の
協議会で決定されますが、あら
じめ設立準備会で検討されて
いる原案をお知らせします。

◆メンバーは？

市町村の長	
市町村議会の代表	各二名
市町村の住民代表	各二名
県職員	一名

以上の構成で、概ね、月に一

回の割合で話し合いが持たれる
予定です。

◆話し合いの内容・期間は？

合併後の新市の名称、庁舎の
位置及び新市の将来構想などや
行政組織に関すること、税負担
などの取り扱い、行政サービス
の水準など現時点で約八百項目
について協議が行われ、期間は
平成十五年一月から約一年間を
目標にしています。

◆傍聴はできるの？

傍聴はどなたでもできます。
また協議会は六市町村での持ち
回りで開催する予定ですので、
川西町が会場になった際は、ぜ
ひ大勢の皆様から傍聴していた
だきたいと思っています。

会議あれこれ

▼十一月二十日(中里村)

十日町広域圏六市町村合併問
題研究懇談会(座長・山本中里
村長)の、助役・担当課長で組
織する『合併問題研究班』会議
が開催されました。

▼十一月二十五日(松之山町)

第七回十日町広域圏六市町村
合併問題研究懇談会が開催さ
れ、『合併任意協議会設立準備
会』の設置を決定しました。

▼十二月六日(中里村)

合併任意協議会設立準備会
(会長・山本中里村長)の、市

町村合併担当課長会議が開催さ
れました。

▼十二月十三日(中里村)

合併任意協議会設立準備会
の、助役・担当課長会議が開催
されます。

かわにし合併物語

このコーナーでは川西町にお
ける合併問題への取組み状況な
どをお知らせします。

◆ご意見をお寄せください。

先月号でも掲載しましたが、
十一月一日に「合併専用のはが
き(びわ色)」を町内全世帯へ
配布しました。合併問題に対し
て不安に思っていることや、ま
ちづくりに対するご意見など、
何でもご自由にお寄せくださ
い。

◆アンケートのご協力

ありがとうございます。
町内七〇〇名の方を対象に、
十一月二十日から十二月三日に
かけて市町村合併に対するアン
ケートを実施しました。ご協力
をいただき大変ありがとうございました。

なお、アンケートの結果につ
いては、次号で報告します。

『川西町保健医療福祉計画』と『第二期川西町介護保険事業計画』の策定を進めています

住民が生き生きとした健康的な生活を送るために、また、高齢者や障害者、母子の福祉向上を目指した『川西町保健医療福祉計画』が、このたび見直しされることになりました。合わせて、平成十二年度にスタートした介護保険は、三年ごとに事業計画の見直しが行われることから、今年度中に『第二期介護保険事業計画』を策定しなければなりません。

この二つの計画策定は、これからの五年間を見据え、住民ニーズに沿った、健康的なまちづくりを進めるために策定するものです。

■策定の方法

保健医療福祉計画については、「保健医療福祉計画策定委員会」を七月に設置し、住民代表である十一人の委員のみなさまと協議をしながら策定を進めています。また、介護保険事業計画は、「福祉のまちづくり推進協議会」を平成十三年三月に設置し、公募による委員を含めた十人のみなさまと、サービスの量、推計、第一号被保険者の保険料などについて審議をしています。



■計画の方向

- ・国がすすめる国民の健康づくりを重要課題とし、世代を超えた町民の健康づくりを推進します。
- ・高齢者の心とからだの健康づくりを推進します。
- ・母子、高齢者、障害者には地域がかかわりをもった福祉を推進します。
- ・高齢者や障害者が住みなれた家庭や地域で暮らしつづけることができる在宅福祉を推進します。
- ・在宅で生活が困難な高齢者の福祉施設の充実を推進します。

■住民のみなさまへのお知らせ

計画内容については、平成十五年一月から「広報かわにし」でお知らせしていきます。

教室・講習

すくすく教室クリスマス会

子どもたちにサンタさんがプレゼントを運んでくれます。ご近所お誘い合わせのうえ、大勢の皆様の参加をお待ちしています。

■日時 十二月二十五日(水)
午前十時

■場所 総合センター

■参加費 一〇〇円(おやつ代)

■申込締切 十二月十八日(水)

■申込方法 電話で申し込みください

■申込先 教育委員会生涯学習課社会教育係 ☎68-2167

精神保健福祉講座

精神障害者について正しく理解し、地域で支え合う大切さを学びます。

■期日

一回目 一月九日(木)
二回目 一月十四日(火)

■時間 午後一時半～四時半

■会場 十日町健康福祉事務所

■内容 医師などの講話(精神疾患について)、福祉制度や社会資源、当事者からの話など

■申込期限 一月七日(火)

■申込先 十日町健康福祉事務所
所地域保健課 ☎57-2400

相談

心の健康相談

痴呆や不眠、やる気がおきない、不安や心配で仕事に手につかない、不登校やひきこもりなどの心の健康に関する悩みや心配がありましたら遠慮なくご相談ください。相談は個室で行い、秘密は守られます。

■日時 十二月十七日(火)
午後一時半

■会場 保健センター二階

■担当 中条第二病院山下医師

■申込期限 十二月十六日(月)

■申込先 保健課健康推進係
☎68-3111内線235

その他

松葉荘から

年末年始営業のお知らせ

松葉荘では年末年始も休まず営業しておりますので、ぜひご利用ください。また、今話題となっているレジオネラ属菌によるお風呂の汚染は、自主検査により陰性となっておりますので安心してご利用ください。

■松葉荘 ☎68-2242

年末年始などのごみ収集・し尿汲み取りの休止について

■ごみ収集 十二月三十一日(火)～一月五日(日)までの間、ごみ収集業務を休みます。

十二月三十日(月)は平常の収集業務を行います。一月四日(土)は焼却場と高城沢不燃物一時保管場所での搬入受け業務を行います。

なお、年末は大変混雑しますので、持ち込みをする場合は早めにお願います。

◎焼却場、午前八時四十五分～午後四時四十五分

◎高城沢不燃物一時保管所、午前九時～午後四時半

■資源物回収センター 十二月二十九日(日)・三十日(月)は平常受け業務(午前九時～午後四時半)を行います。ただし、事業系から排出された資源物の搬入は受け付けません。

■し尿汲み取り 十二月二十八日(土)～一月五日(日)までの間、し尿汲み取り業務は休みます。

■問い合わせ 十日町地域衛生施設組合 ☎52-3924

活用下さい！ 奨学金 貸与制度

奨学金貸与制度を希望する方を次の要領で募集します。

●貸与を受けることができる方
(※①～③の全てを満たしていること)

- ①町に本籍があつて、奨学金貸与申書提出日前二年以上町に居住する方
- ②平成十五年度に高等学校、高等専門学校、専修学校(修学期間は二年以上)、短期大学及び大学に進学予定か在学する学生・生徒(奨学生)を養育する方
- ③経済的な理由で学費の支払いが困難な方

●奨学生の特典

- ①町を愛し、勤勉の志が高い方
- ②学業成績が優秀と認められる方

●奨学金の月額

- ①高等学校 一万円
- ②高等専門学校 二万円
- ③専修学校 三万円
- ④大学(短大を含む) 三万円

●貸与期間

貸与決定の月から、奨学生が在学する学校の最短修学年度限の終期までです。

●奨学金の返済

- ①奨学金には利息がつきません。
- ②据置期間一年ののち、八年以上に年一回または二回のいずれかの方法で返済します。

●提出書類

- ①奨学金貸与申請書
- ②学校長の推薦書
- ③成績証明書
- ④住民票謄本
- ⑤平成十四年度町民税所得課税証明書(家族全員が載っているもの)

●申し込み

三月十四日(金)までに教育委員会学校教育課へお申し込みください。申し込みに必要な用紙は、教育委員会に備えてあります。

●問い合わせ

教育委員会学校教育課
(868-2167)

国の教育ローンの ご案内

国民生活金融公庫長岡支店では、高校や大学、専修学校、各種学校などの入学や在学中の経済的負担を軽減する目的で「国の教育ローン」の取り扱いをしています。

「国の教育ローン」は、低利のうえ手続きも簡単なことから、これまでに全国で三二〇万人の方々から利用されてきた制度です。

■利用できる方

世帯の年間収入が九九〇万円(事業所得者は七七〇万円)以内の保護者の方

■融資限度額

二〇〇万円(学生・生徒一人あたり)

■金利

年一・六%(平成十四年十一月十一日現在)

■融資期間

十年以内(交通遺児家庭及び母子家庭の方は一年の延長が可能です)

■返済方法

毎月元利金等払い(ボーナス併用払いが可能)

■問い合わせ

国民生活金融公庫長岡支店 80258-36
4360

川西町商工会職員募集

=事務局長 1 人採用の予定=

■申込受付

1 月 10 日 (金) ~ 20 日 (月)
(郵送消印は 1 月 18 日まで)

場所 川西町商工会館

第一研修室

試験の方法 小論文及び面接

■合格発表

平成十五年二月三日(月) 予定

※合格者にのみ通知

■採用日

平成十五年四月一日

■受験手続き

申込書の請求先 川西町商工会

■受験申込書の提出先

受験申込書に必要事項を記入し、押印する。写真(縦四 cm × 横三 cm 無帽・正面上半身)をはり川西町商工会に提出する。

■申込書に添付する書類

申込者の履歴書一通

■申込書の受付期間

平成十五年一月十日(金) ~ 二十日(月)

※郵送の場合は、一月十八日消印まで有効

■問い合わせ

川西町商工会
〒948-0144
川西町大字水口沢九一番地一
868-2176

■募集条件

- ①昭和十七年から昭和二十六年生まれ(五十二歳から六十一歳)で、平成十五年四月一日現在で六十一歳未満の方
- ②職員(従業員)など職場の管理職の経験がある方
- ③事務系職種の経験がある方
- ④給与は、新潟県下統一商工会給与規定による

■試験の日時及び場所

日時 平成十五年一月二十七日(月) 午前九時半



いよいよ冬本番！

みんなで道路除雪作業に協力しましょう



道路除雪は異なる作業機械が連携して行います

今年も降雪時期となりました。いよいよ道路除雪も本番を迎えます。

道路除雪は、わたしたちの生活確保のために、なくてはならない作業です。しかし、これは特殊機械を使って行う危険な作業です。また、障害物があると作業が滞ってしまふ、とてもデリケートなものです。作業がスムーズに進み、快適な雪国の生活を送るためには、そこに住むわたしたちひとり一人がそのことをよく理解し、協力する必要があります。

どんなことに気をつけたらいいのでしょうか。聞いてみました。

道路除雪体制はどうなっているの？

国道・県道は県が、町道は町が実施主体となり、それぞれ除雪業者に作業委託をして道路除雪を行っています。

町では、十一月二十九日に除雪業者に町の貸与機械の配車を行い、本格的な除雪体制を整えました。いつでも出動できる体制になっています。

除雪はいつ、どういう形をするの？

除雪の出動の基準としては、道路に積もった雪が一〇センチメートル以上で出動します。朝は七時まで、夕方は五時までに除雪作業が完了することとなっていますが、降雪量が多い場合は規定の時間に作業が終了しないこともあります。その際は皆様のご理解とご協力をいただきたいと思っています。

一般的にどんなことに注意したらいいの？

路上駐車等の障害物があると、その場所の作業ができなくなり、能率が落ちてしまします。また、交通安全にも支障となります。路上駐車はしないでください。

交通事故の原因になり大変危険ですので、屋根の雪は路上に捨てないでください。やむをえ

ず道路に雪を出した場合に、個々の責任において速やかに排雪してください。

また、流雪溝への投雪作業は各路線ごとに計画的に行ってください。

い。その際、雪が詰まり水が流雪溝から溢れ出ないようご注意ください。

お願いいたします。また、事故の原因となりますので、投雪作業が終わりましたら投雪口（ふた）を必ず閉めてください。

雪が降っているのに消雪パイプが止まっていることがあります。

これは、節水・節電のため、一定の時間散水を止めているからです。消雪パイプは、一日のうち午後二時～三時、午後四時～五時に散水が休止します。限りある資源を守るためです。ご理解をお願いいたします。

そのほか、協力をお願いしたいことは？

雪捨て場について、地権者のご協力をお願いいたします。雪



捨て場が確保できない路線については最悪の場合除雪作業ができなくなる恐れがあります。

また、ロータリ除雪車等で投雪してはいけない所には、赤布等でハッキリと目印を設置してください。よろしくお願いいたします。

その他のことも含めてポイントをまとめると、次のようになります。

- ① 除雪作業中は、機械に絶対に近寄らない。
- ② 道路には駐車しない。
- ③ 屋根の雪は路上に捨てない。
- ④ 出入り口は、各戸で除雪する。
- ⑤ 消火栓など重要なものは目印をつける。
- ⑥ 雪の降らない時は消雪パイプの運転を止める。
- ⑦ 雪捨て場確保に協力する。
- ⑧ 投雪してはいけない所には赤布等で目印をつける。

冬の道路確保は、雪国に住むわたしたち全員の責任で行うものです。みんなで協力しましょう。

■ 除雪についての連絡や相談は、十日町土木事務所（☎571-5203）、役場建設課（☎681-3111 内322）へ

だんだんどーも！ ⑬

がちょうのハーモニーの巻

「天神ばやし」やらんだてやんね」「えーなんで」「だってあつちのしよは『石場かち』歌うてやんだんが…」。

午後八時過ぎ、合唱サークル「がちょうの会」のメンバーがひとり二人と集まり始めると、いきなりこんな会話が始まりました。年末に、近くの町のサークルと交換会を行う予定で、その選曲をめぐっての話が弾みます。

「会が始まって十六年目になります。代表は私が二代目、人数はだいたい十三〜十四人ですね。会の名前は、ひばりになりたいという願いを込めて謙遜してつけたんです。だから、すぐに改名しようと思ってたんですが、『がちょう』のまま有名になってしまったら、変えら



れなくなったんです（笑）」と、小野塚靖子さん（50・四郎兼）はリズムに乗るように話します。コーラスで民謡を歌うのは珍しいのですが、その理由を語る小野塚さんは、「最近男性が何人か入ってきて、ばかい具合になったんです。音に幅が出て、選曲のバリエーションも増えました。だっけ歌わいらんだがね（笑）」と、楽しそうです。「長続きの秘訣は、一貫した練習をしていること、異業種の仲間が集まっていること、新しい組織や催しが始まったこと、かな。」と、創設のころからコーラスの指導をしている高橋博さん（46・坪山）が続けます。「次のステップは、もうひとつコーラスのグループが生まれ、お互いに刺激し合うこと。常に前向きな姿勢がハーモニーの源のようです。がちょうもいい声してますよ。」

全国に発信！

NHKラジオ第一放送「あなたの心に響きたい」で川西町元旦卓球大会が全国放送されます！

毎年元旦に川西町総合体育館で開催される「川西町元旦卓球大会」が、NHKラジオ第一放送「あなたの心に響きたい」で全国放送されることになりました。

- 放送時間 午前 10 時 30 分から 11 時 30 分の間の 6 分間放送される予定です。
- 詳しくは、12 月 20 日発行の「広報かわにしお知らせ版」をご覧ください。



チームアップ 役場 No.19

誰だ！ 窓ガラスを 割ったのは…

某日早朝。おや、掃除機をかける職員とその先を見つめる職員：あらま、窓ガラスが割れている。二人とも、「誰だ！割ったのは」という雰囲気ではない、なぜ？

実は、二人が出勤する数分前、「どばーん」という音とともに一羽の鳥が窓ガラスを破って事務室に突入、一人出勤していたある職員の鼻先をかすめて床に落下、鳥は頸椎骨折で即死、という事故がありました。写真は、机の上や窓の周辺にガラスが散乱したため、その後始末をしているところ。

しかし、問題はその背景。鳥の突入角度は二人が座る机の直



上で、もし執務中だったら二人を直撃していたことは疑いの余地なし：しかも、その鳥は町の鳥である「きじ」の雌。さらに、二人の職員は、今がトレンディの「市町村合併担当」ときたもんだから、「こら、合併反対を死をもって示した自爆テロだべか」「いや、あわやというどこを避けたんだんが賛成だこて」と、何やら暗示的な出来事に役場中が一時騒然となったとか：ところで、きじはその後どうなったかって？ もちろん、ねんごろに供養されて：食物連鎖の順に従って処理されたかどうかは、すべて闇鍋の中：なんまんだぶ：

来年の実りに向けて ブルーベリーワークショップ

ー川西町ー

第二回芸術祭に向けて各地で作品制作が行われています。それに伴い、ワークショップも多く開催されていますが、今月はその中の1つ、川西町ナカゴ台地で行われているブルーベリーワークショップを紹介しましょう。

川西町のナカゴグリーンパークは、風光明媚な台地の上に芝生広場やパターゴルフ場、ショートゴルフ場などが広がり、また、大地の芸術祭川西ステージとして芸術祭作品が数多く設置されており、身近に自然とアートに親しむことができる地域住民の憩いの場となっています。その一角に、第二回大地の芸術祭の作品の一つとなる、ブルーベリーの始め約三〇種のブルーの育つ公園整備が進められています。

このベリー園は、昨年秋季に作品プランの公募で当選した「the woods (トゥー・ザ・ウツ



剪定方法を説明する鈴木太美雄さん

ズ) 森口雅浩、森口美代さんの「ベリースプーン」という作品を具体化したもので、新潟県の支援事業(ポケットパーク事業)で整備されています。

作品プランは、運営ワークショップや実際の作業を通して新たなグループを立上げ、ベリーの育成からその後の展開まで住民が関わる体制を作ることから始まります。そして、そのグル

ープが中心となって、ジャムの製造・販売や、ホームページでの情報発信、ジャムのラベル公募をするといったプログラムを進め、ベリーを通して、年代、地域などを越えた人々が交流し、自然空間を共有できる場を作っていくというものです。

十月十六日、その一環としてブルーベリー植栽ワークショップがサンパレスナカゴ(ナカゴグリーンパーク内の施設)で行われました。ワークショップには住民約三〇人が集まり、はじめに作家の森口さんから事業の全体説明がありました。次に、ベリーの専門家である「つくばブルーベリー園」(茨城県つくば市)の鈴木太美雄さんによる講演があり、その後、実際に参加者の皆さんと一緒にベリーの植栽をしました。

ベリーは剪定が大切で、鈴木さんが実演する剪定作業のあまりの多さに参加者は驚いていました。今後の課題は雪対策で、皆さんが雪囲いについて熱心に議論していました。

ベリー約七〇〇本の本格植え付けは、十一月十五・十六・十七日の三日間、整備が進んだベリー園で行われました。

来年、芸術祭が始まる頃には、ベリーが立派に実るでしょうか。楽しみです。

今年のかぜは早めに撃退!

「かぜ」は、最も身近な病気のひとつです。かぜのウイルスは一年中存在しています。が、大流行するのはやはりこれから季節。冬の代表的なかぜはインフルエンザです。

②ウイルスに近づかない・近づけない
人ごみはできるだけ避け、帰宅後のうがい・手洗いの習慣をつける。ウイルスは湿気に弱いので部屋は適度な湿度を保ち、身体も環境も乾燥予防に努める。

この季節は、低温で空気が乾燥していることから、ウイルスの活動が活発になると、ウイルスを防御する鼻やのどの粘膜が寒さと乾燥した空気により弱くなり感染しやすくなります。

③身体を普段から鍛えておく
④予防接種を受けましょう
■かぜにかかったら
かぜは万病のもとと言われることから、たがかぜと油断せず早めの対応が必要です。

■かぜとインフルエンザ



①とにかく、休養と水分
まず、安静にし水分を十分とりましょう。

インフルエンザは、普通のかぜと異なり高熱、頭痛、関節痛など全身症状が非常に強く、体力のない高齢者や乳幼児では、重症化し生命に関わることもあります。

②食事は消化のよいものを適量に
栄養も大切ですが、かぜと戦う体力を温存するには、胃腸に負担をかけないものを少量とることをおすすめします。

①普段から体調を整える
食事はたんぱく質とビタミンA・C・Eを多めにバランスよく。休養・睡眠を十分に。

③早めに医療機関に受診しましょう

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

南雲 78 (洋一) 中仙田
高橋 101 (寅治) 室島
南雲 69 (本) 田中町
田村 ミサオ (本) 赤谷
高橋 オノ (宏実) 上野
若山 正一 (本) 新町新田
柳 辰雄 (本) 中島町
藤 卷 ツネ (敏雄) 塩辛
江口 正平 (本) 小白倉

うぶ声—おすこやかに

高橋 樺珠 (かみ) 将和
金子 智暉 (とも) 和弘
齋藤 珠子 (たまこ) 由香
千克 根東 (ちから) 元町

高砂—ご円満に

長谷川 正和 赤谷
小島 麻里子 津南町

須藤 栄 下原
木村 まどか 塩辛

(11月1日—30日届け出順)



かわし俳壇

高崎正風選

兵眠るバイカル湖から鳥渡る
落葉踏む踏まずに通る所なく
沢庵に妻の厳しき塩加減

練馬区 須藤 遊人

新米を贈れば何かお返し来
初霜の初雪よりも遅かりし
梨貰い礼に大根白菜を

霜條 星名 星光

つむじ風たわむれており柿落葉
高山に雪来て並ぶ臨時車庫
朝寒やマスクで隠す無精ひげ

野口 高橋 波京

掃けば散る庭の落葉の裏表
色鳥の遊ぶ小枝の実の一つ

ボロ市や少女の覗く古時計

足立区 涌井ハル子

大根引くけふを峠といふ日和

案山子抜く案山子のごとき身形して

東の間の夕日の染めし掛け大根

新町新田 若山 向山

初霜や屋根屋も怖じる高足場

霜月のチラシに今日も店仕舞

上町 高橋 願似

寒鴉人を窺い地に下りぬ

寝そびれし窓の寒月冷えびえと

田中町 石澤 澄代

柿を取る留守居の老いの一人言

大根を漬けるや石の重かりし

八王子市 松浦 サク

寒々と野に暮れ残り枯尾花

雪のある畝より大根引きにけり

大倉 中條 石平

霜白しバス待つ人の息白し

指で押しかたさ確かめキャベツ採る

小白倉 田中 優美

小鳥来て秋の光に包まるる

栗落つる音を真近に栗拾う

中屋敷 金子 鉄平

それぞれの老いにそれぞれ小春かな
落葉焚く消ゆるともなきけむりかな

岩瀬 登坂伊智子

バス停に一人待つ間の時雨かな

干柿や二度も三度も味見して

小白倉 江口みゆき

毛糸編む娘へ猫が来て一と休み

昼餉終ゆ道路工夫の日向ぼこ

野口 村越 由喜

寸評

正風

・落葉踏む—落葉を踏まずに通ること
が出来ない—という道一面の落葉なの
である。落葉の色や周囲の様子が目に浮
かんでくる。

・高山に—遠くの高い山に雪が来て、
里に降るのも近い。雪に備え車の出し入
れしやすいように道添いの畑や田んぼに
仮説の車庫が建ち並んだ—という雪国な
らではの情景が巧みに詠まれている。
・栗落つる—自分の身近だけでなく、
あちこちに次々と落ちることが想像され
るのである。風の吹く日であろう。

休日救急医

12月22日 大島医院
(十日町市川原町)
☎ 52-2957
津南病院
(津南町大割野)
☎ 65-3161
23日 庭野医院
(十日町市寿町4)
☎ 52-2711
29日 川西町国保診療所
(川西町高原田)
☎ 68-2034
30日 小林内科医院
(十日町市中条中町)
☎ 52-7155
31日 田中外科医院
(十日町市田中町本通)
☎ 52-2403
1月1日 第二藤巻医院
(川西町上野)
☎ 68-2018
2日 大坪医院
(十日町市四日町新田)
☎ 57-6100
3日 本町クリニック
(十日町市本町3丁目)
☎ 50-1160
5日 たかき医院
(十日町市土市第5)
☎ 58-2361
12日 池田医院
(十日町市本町西1)
☎ 52-2581

■表紙の写真

11月10日は岩瀬そば祭りでした。みぞれが雪に変わる寒い一日でしたが、そこだけは、ほんのりと暖かい空間でした。ムラのみなの気持ちですね。

?クイズの答えです?

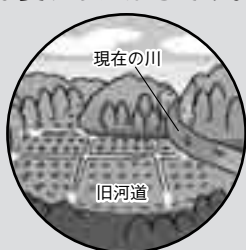
「渋海川の川幅はどこもそれほど広くなく、河原もほとんど見られないのはなぜか?」

その答えは、何百年も前から行われた「瀬替え(瀬換え)」により川の流れが変わったからです。

蛇行する部分を直結して、もとの河道を水田にする瀬替え工事は、江戸時代に盛んに行われました。その結果、流路が削られ、短く急になったためにこういう姿になりました。

正解者は、登坂充乃さん(赤谷)、小林ナツイさん(中仙田)でした。お二人には記念品をプレゼントします。

次号でもクイズを出します。





▲「うさぎの家」
2年生 和久井幸奈さん

▶「ゆきだるまのおうち」
1年生 渡辺 楓さん



▲「ポケモンワールド」
4年生 高橋直哉くん

▶「みんなできれいなもようをつくったよ」
3年生 全員



(1月号は仙田小学校です)



▲「みんなの公園」
6年生 大久保茶月さん



▲「夏休みの楽しいお祭り！」
5年生 野沢みずきさん

●ふゆのせう●

ついに来た、初雪。降雪九cm、積雪八cm。

十一月五日の初雪は平年よりも二十日以上早く、昭和四十四年に観測を開始してから最も早いもの。秋野菜はほとんど未収穫で農家はてんでこ舞い。

特に被害が大きかったのは転作で栽培していたそばで、約七五%が雪の下になった。

作物だけでなく、山々も準備ができていなかったようだ。紅葉前に雪を被った木々は、あわてて落葉を始めた。黄色の実をたわわに付けた銀杏も、青々とした葉のままだ。



異常ともいえる現象だが、景観としては絵になる。せっかくの機会なので、しばし初雪観光を楽しんでしまった…

㊦